

いしかわエコハウスとは

いしかわエコハウスは、環境省の 21 世紀環境共生型住宅いわゆるエコハウスのモデル整備事業として建築されたもので、石川県が北陸地方で唯一採択されました。最新の省エネ技術を用いて自然エネルギーの優先活用をしつつ、伝統的な暮らしの知恵をも活用して、いしかわの気候風土にあった「石川らしさ」を追究しています。

【所在地】 金沢市鞍月2丁目1番地

【建物概要】 木造2階建て 延べ床面積約300平方メートル

【開設年月日】 平成22年4月28日

【主な展示設備】 太陽光発電パネル及びモニター、風力発電機、太陽熱温水器、ヒート&クールチューブ、高効率給湯機、オーニング(可動式ひさし)、エコハウスの体温計、断熱サッシ・遮熱ガラス、多灯分散照明、エコキッチン・省エネ家電、雨水利用タンク、グリーンカーテン(夏期) など..

いしかわエコハウスの特徴

1 最新の住宅省エネ技術の活用

- (1) 建物の躯体は高気密・高断熱(断熱材、二重ガラス窓)
- (2) 住宅用太陽光発電パネル⇒景観に配慮したパネルの設置
 - ・段状に設置するパネルの採用(既存住宅に設置するタイプ)
 - ・屋根一体型のパネルの採用(新築住宅に設置するタイプ)
- (3) 太陽熱給湯器、高効率給湯器
- (4) 家庭用風力発電機
- (5) 地中熱を取り入れる換気システムの採用

2 伝統的な暮らしの知恵の活用

- (1) 卓越風の利用
 - ・建物の向き、窓の位置等を工夫し、自然風をなるべく多く取り入れる
 - 注)卓越風(たくえつふう)とは、ある地方で、ある特定の期間に最も頻度が多い風向の風
- (2) 深いひさし
 - ・伝統的民家によく見られる深いひさし
 - ・夏は日射を、冬は風雪をさえぎり、省エネにも貢献する
- (3) 植栽による日射遮蔽
 - ・広葉樹を南側に植栽(夏は日射をさえぎり、冬は日射を通す))
 - ・窓の外にアサガオ等を植栽し、夏の日射をさえぎる(グリーンカーテン)
- (4) 陽だまりの縁側
 - ・冬場の太陽熱を有効活用できる、オーニング(可動式ひさし)を備えたガラス屋根の縁側
- (5) 下見板風外壁ルーバー
 - ・外壁に木製板(ルーバー)を張り、直射日光による外壁の温度上昇を緩和する

3 県内製品の活用

(1) 県産木材の活用

活用例 杉(県産): 柱・筋交い・垂木等 能登ヒバ: 床材、土台、根太

(2) 県内企業等が開発・製造・販売する設備・装置・素材の活用

活用例 緑化基盤材、風力発電装置、LED 照明 等